

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	日南看護専門学校
設置者名	学校法人 日南学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数（新カリキュラム）

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
看護専門課程 (3年課程 全日制)	看護学科	夜・通信	12単位	9単位	
		夜・通信			
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

日南看護専門学校にて閲覧可能

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	日南看護専門学校
設置者名	学校法人 日南学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数（旧カリキュラム）

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
看護専門課程 (3年課程 全日制)	看護学科	夜・通信	9単位	9単位	
		夜・通信			
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

日南看護専門学校にて閲覧可能

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	日南看護専門学校
設置者名	学校法人 日南学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

法人本部において閲覧可能

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	元宮崎日日新聞社 取締役	R3. 5. 31～ R7. 5. 30	学校と地域との連 携担当
非常勤	会社員 コーストライフ社	R3. 5. 31～ R7. 5. 30	教育行政担当
非常勤	会社員 宮崎太陽銀行	R5. 3. 23～ R7. 6. 30	経理担当
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	日南看護専門学校
設置者名	学校法人 日南学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p><作成について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・3年間の修業期間において、どの科目をどのような順序で学習していくのかの学科進度表を土台とし、年度末に科目担当教員がシラバス(授業科目の開講時期、単位数、学習目標、授業内容、成績評価方法、担当教員名)を共通フォーマットで作成し、全科目分作成している。 <p><公表について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生に対しては、入学時に個々に配布している。(3年間使用する) ・一般に対しては、学校の事務カウンターに3学年分のシラバスを常備し、希望者には自由に閲覧できるようにしている。 	
授業計画書の公表方法	シラバスは学内で閲覧可能
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p><評価の取り組みについて></p> <ul style="list-style-type: none"> ・単位認定試験については、規定時間の3分の2以上の出席時間の確認により受験資格を与えている。 単位認定試験実施で60点以上が合格となり単位認定される。 60点に満たない場合は1回のみ再試験を実施し、再試験で60点以上であれば単位認定とする。 出席時間数が不足していた場合は、同科目を次年度再履修としている。 やむを得ない事情で単位認定試験が受けられなかった場合には、追試験を実施する。 ・演習ではルーブリック評価表を用いて教員・学生が到達度を共有して学習に取り組みその反応を評価している。 ・実習については、規定時間の3分の2以上の出席時間および、ルーブリック評価表に基づき6割以上の点数の確認により合格とし単位認定している。 点数が6割に満たない場合は1回のみ再実習を実施し、再実習で6割以上であれば単位認定とする。 再実習は、不足している内容に応じて、臨地再実習もしくは学内再実習のどちらかを実施する。 やむを得ない事情での出席時間数不足の場合においては、補修実習を実施する。 	

<p><進級について></p> <p>単位制であるが、進級に関しては以下の条件を定めている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年次の専門基礎分野の単位を13単位中10単位以上修得しなければ、基礎看護学実習2には進めない。 ・1年次の基礎看護学の講義単位数を3分の2以上修得（『看護実践の思考』は必ず修得すること）しなければ、基礎看護学実習2には進めない。 ・基礎看護学及び看護の統合と実践を除く、専門分野（地域・在宅、成人、老年、小児、母性、精神）の講義の単位数を3分の2以上修得しなければ、その領域に該当する実習に進むことはできない。 ・原則として、3年次の臨地実習終了時点で、2科目までの臨地実習（再実習・補習実習）が残っている場合は当該年度内での臨地実習を行うが、3科目以上の臨地実習が残っている場合は、次年度再履修となる。 ・3年次に次年度の再履修が決まっている場合は、当該年度の統合実習に進むことはできない。 	
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>（客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成績評価については、単位認定試験、課題レポート、技術試験を実施し、課題レポート、技術試験については評価基準を事前提示してから実施している。 ・単位認定結果は、学内に掲示している。 ・科目の点数および評価、成績順位は、年3回成績表を個別に通知している。 ・授業科目の評価は100点満点とし、A（80点以上）B（70～79点）C（60～69点）D（60点未満）の4段階で評価し、C以上を合格とする。 	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>学生便覧にて提示している 希望者には自由に閲覧可能にしている</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要）</p> <p><卒業時の学修目標に対する取り組み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自校の教育理念に基づき、卒業時に身につけてもらいたい資質、能力を学生便覧の「長期的ルーブリック」にて明確に示している。修業年限の3年間で段階的に目標を達成できるよう、学年ごとに目標を定め、各学年終了時に、学生自身にも自己評価させている。 この評価の結果が直接卒業認定に影響することはないが、教員や学生が相互に目標到達度を把握し、次なる課題に向けて進むための動機づけとして活用している。 	

<卒業認定に関する策定・取り組み>

- 卒業認定について学則に定め、修業年限3年以上本校に在学し（ただし、学生は6年を超えて在学することはできない）、学則によって定められた教育課程（現在97単位）の必要な単位数を修得した学生について、運営会議の議を経て卒業認定する。
- 卒業を認定した者に対し、専門士（医療専門課程）の称号を授与する。
- 卒業認定に関する事項は、学生便覧に提示している他、入学時に保護者説明をおこなっている。
- 3年生の夏季休業中に、単位の修得状況と卒業までの見通しについて、本人や保護者の理解も得られるよう、三者面談を実施している。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

学生便覧にて提示している。
希望者には自由に閲覧可能にしている

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】（新カリキュラム）

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	日南看護専門学校
設置者名	学校法人 日南学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	法人本部において閲覧可能
収支計算書又は損益計算書	法人本部において閲覧可能
財産目録	法人本部において閲覧可能
事業報告書	法人本部において閲覧可能
監事による監査報告（書）	法人本部において閲覧可能

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		全日制	看護	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	104 単位 単位時間/単位	81 単位 単位時間 /単位	単位時間 /単位	23 単位 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			104 単位 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人		102人	0人	9人	88人	97人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業科目の開講日時、学習目標、進度、評価方法についてシラバスを作成し学生個人に配布している。
成績評価の基準・方法
（概要） 成績評価については、単位認定試験・課題レポート・技術試験を実施し、課題レポート・技術演習については評価基準を事前提示してから実施している。 試験結果は、公表しその都度個人にも返却している。
卒業・進級の認定基準
（概要） 卒業認定について学則に定め、出席日数、単位認定についての各学年の1年の3回成績表を送付し、運営会議において認定する。
学修支援等
（概要） 行っていない。

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】（旧カリキュラム）

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	日南看護専門学校
設置者名	学校法人 日南学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	法人本部において閲覧可能
収支計算書又は損益計算書	法人本部において閲覧可能
財産目録	法人本部において閲覧可能
事業報告書	法人本部において閲覧可能
監事による監査報告（書）	法人本部において閲覧可能

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		全日制	看護	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年		97 単位 単位時間/単位	74 単位 単位時間 /単位	単位時間 /単位	23 単位 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			97 単位 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人		102人	0人	9人	88人	97人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業科目の開講日時、学習目標、進度、評価方法についてシラバスを作成し学生個人に配布している。
成績評価の基準・方法
（概要） 成績評価については、単位認定試験・課題レポート・技術試験を実施し、課題レポート・技術演習については評価基準を事前提示してから実施している。 試験結果は、公表しその都度個人にも返却している。
卒業・進級の認定基準
（概要） 卒業認定について学則に定め、出席日数、単位認定についての各学年の1年の3回成績表を送付し、運営会議において認定する。
学修支援等
（概要） 行っていない。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
34人 (100%)	2人 (5.9%)	32人 (94.1%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 看護師			
(就職指導内容) 面接を行い、就職希望先のパンフレット・就職案内をもとに内容を検討			
(主な学修成果（資格・検定等）) 看護師国家資格			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
105人	1人	1%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) カウンセリング・三者面談を実施。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
看護	100,000 円	580,000 円	332,000 円	1年生
	円	円	円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 日南看護専門学校にて閲覧可能		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 1年に2回学校評価委員会を開き、学校側より学生の状況、国家試験対策、行事予定等を説明し、委員の方々より意見・要望をいただきよりよい学校づくりに取り組む。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
学校法人 日南学園 理事長	R3.5.31～ R7.5.30	学校法人 日南学園 理事長
日南学園高等学校 校長	R7.5.30～	学校法人 日南学園 理事
元宮崎日日新聞社 取締役	R3.5.31～ R7.5.30	学校法人 日南学園 理事
会社員 コーストライフ社	R3.5.31～ R7.5.30	学校法人 日南学園 理事
会社員 宮崎太陽銀行	R5.3.23～ R7.6.30	学校法人 日南学園 理事
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 日南看護専門学校にて閲覧可能		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.nichigaku.info/infomation/detail.php?id=6
--

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード	H145320486335
学校名	日南看護専門学校
設置者名	学校法人 日南学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		22人	19人	22人
内訳	第Ⅰ区分	13人	—	
	第Ⅱ区分	—	—	
	第Ⅲ区分	—	—	
家計急変による支援対象者（年間）				
合計（年間）				22人
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	—		
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の5割以下)	0人		
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人		
「警告」の区分に連続して該当	0人		
計	—		
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であつて、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	後半期	

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の6割以下)	0人		
GPA等が下位4分の1	—		
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	0人		
計	—		
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。